

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP 18-61 & RP 29-60
研究課題名	「広島と長崎における腫瘍登録調査」および「白血病および関連疾患の探知調査」 (平成 27 年 (2015 年) までに発生した腫瘍を対象とする場合)
研究責任者 (所属)	小笹晃太郎 (放射線影響研究所)
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究目的：放影研の寿命調査集団 (胎内被爆者を含む) および被爆二世集団に発生する腫瘍の原爆放射線リスクを明らかにするために、放影研で実施しているさまざまな研究に用いることを目的として、調査対象者の方の腫瘍診断情報を収集します。研究を通して、被爆者および被爆二世の健康保持及び福祉に貢献するとともに、人類の保健の向上に寄与することを目指します。 利用方法：調査対象者の方の平成 27 年 (2015 年) までの良性および悪性腫瘍の診断情報を、広島・長崎の地域がん登録 (広島県市・長崎県の事業) および腫瘍組織登録 (広島県・長崎県医師会の事業) によりすでに取得しています。その際、氏名、性別、生年月日、および住所 (利用可能な場合) を個人照合のために利用しました。取得した情報は、原爆放射線によるがん罹患リスクを明らかにするための解析や、放影研で実施している他の解析研究に利用します。その際、調査対象者は匿名化され、個人が特定されることはありません。
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (提供先機関：米国国立がん研究所、米国ヒロソフトインターナショナル) 生年月日等を月単位に丸めるなどの匿名性を高める処置を行った上で、匿名化された個別データ (対応表は放影研に保持) として提供します。 なお、本研究は基盤研究のため、本研究によって収集された情報が、他の研究計画の中で他の機関に提供される場合があります。その場合、その旨はその研究計画書に記載されます。 <input type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する試料・情報の項目	良性および悪性腫瘍の診断情報 (診断年月日、発生部位、組織型等)
利用する者の範囲	放射線影響研究所 グラント・エリック 小笹晃太郎

	<p>坂田 律 ブレナー・アリーナ 杉山裕美 歌田真依 スポスト・リチャード フレンチ・ベンジャミン コローン・ジョン 三角宗近 山村麻理子 加藤直広 疫学部原簿管理課・腫瘍組織登録室・病理学研究室・解析室の担当職員 統計部解析室の担当職員 米国国立がん研究所 馬淵清彦 カフーン・エリザベス 米国ヒロソフトインターナショナル プレストン・デール</p>
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	小笹晃太郎（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>